

出場校への連絡と諸注意

令和元年度第28回

関東高等学校空手道選抜大会実行委員会

◇小瀬武道館への入館について

① 受付は、すべて1階玄関でお願いします。

各校の監督・コーチ・選手は2階玄関から入館してください。

役員・審判員は1階玄関から入館してください。

② 開館時間は競技第1日目(18日(土))は8:30、2日目(19日(日))は8:15です。係員の指示に従って、整然と入館してください。

◇開会式・閉会式について

① 18日(土)の開会式前、12:00にアリーナに集合・整列してください。

② 整列順は、出場校一覧の順です。

③ 開会式は入場行進を行いません。

③ 閉会式でも入場行進は行いません、19日(日)15:20に各都県名プラカード後ろに集合・整列してください。

◇競技について

① 選手は各競技開始の15分前に、招集場所(1階コンコースモール)に集合・整列してください。

② 腰紐が無い道着・胸紐がついている道着は使用できません。

③ 形申告用紙、団体組手のオーダー用紙は、各校のデータ(参加申込書エクセルファイル)に入っておりますので、持参していただき、招集時に提出してください。提出後の変更はできません。

◇表彰について

① 表彰式に参加できない場合は、事前に本部に連絡してください。

◇宿泊・弁当について

① 大会当日の変更・取消しは、できるだけ早く、取扱い業者受付に申し出てください。

② 注文してある弁当の配布は、1階受付で11:00頃に行います。弁当の空き容器は受付で回収しますので、14:00頃までに持ってきてください。

◇武道館使用について

① 館内での土足を禁止します。また、選手が裸足で館外に出ることを禁止します。

- ②コンコースモールや練習場での飲食を禁止します。食事は2階観覧席でお願いします。
- ③持物・靴は各自の責任で管理して下さい。特に貴重品などは紛失や盗難のないように十分に注意して下さい。
- ④ゴミは各自が持ち帰ってください。
- ⑤施設や器具などを大切に使用してください。万一損害を与えた場合は、相当額を弁償していただきます。
- ⑥練習は決められた場所でのみ行って下さい。通路、駐車場などでの練習を禁止します。
- ⑦電源コンセントを学校や個人で使用することは禁止します。
- ⑧その他、職員の指示する事項を必ず守って下さい。

◇練習場所と時間

① 練習場所の都県別割り振りをします。練習場所は各県で決められています。各校が譲り合って、使用して下さい。

	第一武道場(床) 埼玉・栃木・東京・山梨	第二武道場(畳) 千葉・神奈川・茨城・群馬
1月18日(土)	10:00~11:30	10:00~11:30
	開会式(練習不可)	開会式(練習不可)
	13:00~17:30	13:00~17:30
1月19日(日)	8:15~15:00	8:15~15:00

- ②物品を置くなどによる場所取りは禁止します。

◇小瀬武道館駐車場(無料)の利用について

- ①普通車は、第4駐車場(294台)・第5駐車場(219台)を利用してください。
- ②大型車は、必ず第三駐車場(大型59台、普通840台)を利用してください。

◇その他

- ①物品(記念Tシャツ・競技用品・プログラムなど)を販売しています。ご利用ください。
- ②プログラムに掲載されている選手、監督コーチ、役員、補助役員は団体旅行傷害保険に一括して加入しています。事故などがありましたら、本部に連絡して下さい。
- ③プログラムに記載ミスなどがありましたら、監督会議などで本部に連絡して下さい。

関東高等学校体育連盟空手道専門部 大会参加心得・申し合わせ事項

令和元年度第 28 回関東高等学校空手道選抜大会実行委員会

I. 選手の服装と頭髪等

[1] 空手道衣

- 1) 空手道衣は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止する。また、帯の色は白・茶・黒いずれかとし、競技者の赤・青帯の長さは大腿部の 3/4 を超えないものとし、ゴムやマジックテープなどを付けることは禁止する。
 - 2) 空手道衣の左胸に入れる校名は、次の基準による。
 - ① 一文字の大きさは 5cm×5cm～7cm×7cm とする。(縦書で全体の大きさ 7cm×15cm 程度)
 - ② 字体は丸ゴシック・行書・楷書の範囲とする。
 - ③ 文字の色は黒又は紺又はスクールカラーとする。但し、色を合わせて使うことはできない。
 - ④ 「～高」は必ずしも入れなくてよい。
 - ⑤ 個人名の刺繍を入れる場合は黒色とし、姓(名字)又はフルネームであることが望ましい。(個人名はなくてもよい)
 - ⑥ 指定の箇所以外の刺繍は禁止する。
 - 3) 空手道衣の左袖上腕部に入れる都道府県名は、次の基準による。
 - ① 一文字の大きさは 5cm×5cm～7cm×7cm とする。
 - ② 都・府・県の文字は入れなくてよい。
 - ③ 字体・文字の色については、上記 2) の ② ③ に準ずる。
 - 4) ウェストを帯で締めたときの上着の長さは、腰を覆うほどの長さとし、ももの中ほどまでのものとする。
 - 5) 上着の袖の長さは最長、手首までとし、肘から手首の間の中ほどより短くてはならない。上着の袖をまくり上げてはならない。
 - 6) 上着の袖の空きは袖全長にわたって、袖と腕との間(袖を片側に寄せた状態)が 8cm から 20cm でなければならない。
 - 7) ズボンの長さは、少なくとも下肢の 3分の2 を覆うほどの長さとし、^{くるぶし} 踝がかくれてはならない。裾をまくり上げてはならない。
 - 8) ズボンの空きは、ズボン全長にわたって、ズボンと脚との間(シンガードを付けずに、ズボンを片側に寄せた状態)が 8cm から 20cm でなければならない。
- ※上記の 4) ～ 8) は、いずれも「気をつけ」の状態で行う。
- 9) 上着の腰紐が付いているものを着用し、試合時は縛ってはいなければならない。
 - 10) 上着の胸紐は付けてはいけない。
 - 11) 競技者は手足の爪を短くし、相手に傷を与えるような金属または他のものを身につけてはならない。
 - 12) 競技者が不適當な服装で競技場に現れた場合、1 分の間に服装を正さなければならない。
 - 13) 組手競技・形競技ともに、(公財) 全国高体連空手道専門部規定の赤・青帯を使用する。なお、帯は各校で準備する。
帯への刺繍は一切しないことが望ましいが、全空連大会で認められていることもあるので、入れる場合は、下記の通りとする。
所属名 「〇〇高等学校空手道部」、「〇〇高等学校」、「〇〇県高体連」、
「全国高等学校体育連盟」、「全日本空手道連盟」
この類とし、会派流派名や道場名は不可とする。
もう片方は 名前
なお、テーピングテープ等を帯に巻き、刺繍を隠す行為は認めない。
刺繍の色は、金色または銀色とする。

[2] 選手の頭髪等

- 1) 男子はスポーツマンらしい頭髪にし、長くても「まゆげ」にかからず、「耳」が見え、「エリアシ」が見えるように整髪する。
- 2) パーマ、リーゼント、ソリ、ヒゲ、染色、脱色を禁止する。
- 3) 女子は、ヘアピン、ビーズ、リボン・鉢巻きその他の髪飾りも禁止される。
また、髪を 1 つに束ねるための目立たないゴムバンドは 2 つまで認められる。

ヘアーゴム等の色は、黒・紺・茶とする。

空手道衣の下は白無地のTシャツとする。(但し、ワンポイント校名もしくはワンポイントのロゴ入りは認める)

II. 組手競技では男子5点・女子4点の安全具を必ず着用すること。

- 1) ニューメンホーⅦ及びⅥ(全空連検定のもの)
- 2) 拳サポーター赤・青(全空連検定のもの)
- 3) ボディプロテクター(高体連指定またはミズノ製のもの)
- 4) シンガード・インステップガード(高体連指定のもの)
- 5) セーフティカップ(男子のみ)・・・空手道衣の下に着用すること。

※違反者の参加は反則負けとなる。(1分間ルール適用)

※マウスピースを使用してもよい(任意)。ただし、色は白色か透明なものとする。

III. 組手競技・形競技ともにメガネ、コンタクトレンズ(ハード)の使用は禁止とする。但し、コンタクトレンズ(ソフト)の使用は、個人の責任において認める。

IV. 負傷及び再発防止のための包帯、サポーター・テーピングの使用を許可する。但し、次の条件を満たすものであること。

- 1) 攻撃および防御強化のために使用してはならない。
- 2) 相手に危害を及ぼすようなものを中に入れてはならない。
- 3) 装着不備により、競技をしばしば中断させないこと。
- 4) テープの色は、白及びベージュ系の2色のみとする。
- 5) サポーターの色は、白及びベージュ系の2色のみとするが、膝についてはこの限りではない。
- 6) テープとサポーターの同一箇所への兼用は禁止する。
- 7) 清潔な物であること。

[注] あくまでも選手の安全と再発予防のため、軽度の疾病者を対象としたものであり、常識を逸脱するような内容の者及び重傷の出場者を許可するものではない。

※上記1)、2)に違反した者は当該競技種目のみ反則負けとする。

V. 組手競技

- 1) 申し合わせ事項II.において指定された安全具を必ず着用すること。
- 2) 組手競技の勝敗は、8ポイント差が生じた場合、または時間終了の際に得点の多い競技者。8ポイント以上の得点で勝利をした場合、得点のすべてが獲得されなければならない。競技終了時点で同点の場合、先取(先に得点すること)した競技者。無得点又は先取もなく同点の場合、副審4名と主審の判定により勝者を決定する。又は相手に反則、失格、棄権が課せられることにより決められる。
- 3) 団体競技において、登録されたメンバーの枠の中で、各回戦毎のオーダーの変更はできる。但し、試合毎にオーダー票を提出すること。提出後の変更は認めない。
- 4) 団体競技は、勝敗が決まった段階で試合を終了する。
- 5) 団体競技は、規定の過半数の選手(現行は3人)で成立する。
- 6) 一度棄権した選手は、以後の当該種目には出場できない。
- 7) 組手競技に於ける危険回避(事故防止)のための遵守事項は次の通りである。
 - ① メンホーは皮膚の一部であり、メンホーの開口部に手を入れたり、掴んだり、押したり、それに関連する動作は全て禁止でペナルティが課せられる。
 - ② メンホーの装着は仕様に従い、しっかり装着すること。
- 8) 倒れたり、投げられたり、又ノックダウンされ10秒以内に立ち上がることが出来なかった競技者は、その大会期間中全ての組手競技への出場は出来ない(10カウントルール)。
- 9) 倒した、あるいは倒れた相手に対する蹴り技は認められるが、必要以上の加撃がないように充分注意すること。
- 10) ジュニアカデットルールで実施する。
- 11) 禁止事項の確認
 - ① 喉への接触技。
 - ② 攻撃部位に対する接触技。技は全てコントロールされたものでなければならない。

- ③ 腕、または脚部への攻撃。股間部・関節または足の甲及び脚の上部への攻撃。
- ④ 頭部、膝、肘での攻撃。貫手または開手による顔面への攻撃（手刀、背刀は除く）。
- ⑤ 相手が完全に着地できない、または負傷の原因となる危険な投げ技。
- ⑥ 負傷を装うこと、または誇張すること。
- ⑦ 場外の繰り返し、または時間の浪費が多すぎる動き。
- ⑧ 自ら負傷を受けやすい様な行動をとること。
- ⑨ 相手に得点を取られない様、攻撃をせずに逃げること。
- ⑩ 相手の安全を損なう技、または危険でコントロールされていない攻撃。
- ⑪ 主審の命令に従わないこと。審判団への不作法な態度。相手に話しかける、または相手を刺激すること。
- ⑫ 不活動（戦おうとしない）。

VI. 形競技

- 1) 個人形・団体形ともに2019年度改訂の得点制とする。
- 2) 南北別個人形競技の第1ラウンドは（公財）全日本空手道連盟第1・2指定形とする。第2ラウンド以降は（公財）全日本空手道連盟得意形とし一度使った形は使えない。
南北統一戦個人形競技の第1ラウンドは（公財）全日本空手道連盟得意形とする。決勝は（公財）全日本空手道連盟得意形とし一度使った形は使えない。
※再演武は上位ラウンド進出に関わる時とメダルマッチの時に同点が出た場合、再演武を行う。再演武で使用する形は当該ラウンドで使った形以外の形とする。以前に本戦で使った形でも良い。再演武で使った形で本戦に使っていない形はそれ以降も使える。
- 3) 南北別団体形競技の第1ラウンドは（公財）全日本空手道連盟第1・2指定形とする。第2ラウンド以降は（公財）全日本空手道連盟得意形とし一度使った形は使えない。
南北統一戦団体形競技は決勝で得意形と分解を行うこととする。ただし、演武時間は形・分解を合わせて5分間とする。
※再演武については個人形と同様とする。
※第1指定形・第2指定形及び得意形は空手道競技規定（JK2019年初版）の「付録17：指定形リスト」並びに「付録18：得意形リスト」から選択しなければならない。
- 4) 団体競技は規定の選手数（3人）を満たさないと成立しない。
- 5) 団体競技において登録されたメンバーの枠のなかで回戦毎の選手交代はできる。
- 6) 団体競技において「よ〜い、はじめ」「なあって」などの発声（合図）は行わない。
- 7) 南北統一戦の団体競技の決勝では形の演武後にその形の分解を行う。
分解の演武中に意識がないように演じるのは不適切である。倒れた後、片膝まで起き上がるか、又は立ち上がって行かなければならない。
- 8) 団体形分解の禁止事項
 - ①首へのカニばさみ
 - ②肩より上に持ち上げる行為
 - ③相手を投げ捨てる行為

VII. 引率

- 1) 引率責任者は選手のすべての行動に対しての責任を負うものとする。
- 2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

VIII. 監督・コーチ

- 1) 監督は（公財）全日本空手道連盟会員登録者であること。
- 2) 監督は審判員を兼ねることはできない。
- 3) 監督はあらかじめ届け出された者で原則1名とするが、登録監督が審判員になる場合や競技日程の関係で男女あるいは選手が重複して出場し、同時進行になった場合に限り、運用として当該校の校長が認めた顧問・コーチが、その競技のみの臨時の監督を務めることができる。但し、事前に競技委員長に申し出る義務を有し、学校長が認めた者とする。
- 4) 監督の服装はトラックスーツとする。

IX. 健康管理

- 1) 競技中の疾病・障害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
(傷害保険の加入・大会医師の常駐)
- 2) 故障者については、監督の責任で出場を取り止めること。
- 3) 参加選手・役員は、健康保険証を持参すること。

X. その他の注意事項

- 1) 競技中に競技者からのタイムの要求はできない。全て主審または副審のアピールによる。
- 2) 競技者が定位置に戻るときは速やかに戻る。だらしない態度や行動はしないこと。
- 3) 競技者が定位置に立ったときは、完全に静止し主審の合図を待つこと。
- 4) 競技者がポイントを取ったとき、または勝ったときのオーバーアクションやガッツポーズを禁止する。(監督や待機選手も同様とする。)
- 5) 競技者が道衣の上に衣類を着用する場合はだらしない着方をせず、競技開始時や終了時には脱ぐこと。
- 6) 競技者が試合コート内で円陣を作り、氣勢を上げる等の示威行為を禁止する。
- 7) 競技者は、定位置のみならず試合コートへの出入り時にも「礼」をすること。

XI. 審判員心得及び確認事項

- 1) 公平・無私・正確を旨とすること。
- 2) 主審は競技中の主導権を持ち、スムーズな進行に心がける。
- 3) 監督及び選手のマナーの指導も行う。(会場内の過度な応援に対する指導も含む。)

大会日程

第1日 1月18日(土)

- ① 8:30 開館
- ② 10:00~10:30 各都県審判長会議
- ③ 10:00~11:30 受付・公式練習
- ④ 10:30~11:00 計量(研修室)
- ⑤ 10:30~11:00 各都県委員長会議
- ⑥ 11:00~11:30 審判会議
- ⑦ 11:30~12:00 監督会議
- ⑧ 12:10~12:40 開会式(入場行進無)
- ⑨ 13:00~17:10 形競技
- ⑩ 17:15~17:25 形競技表彰
- ⑪ 17:25 終了

第2日 1月19日(日)

- ① 8:15 開館
- ② 9:00~15:25 組手競技
- ③ 15:30~閉会式(組手表彰)
- ④ 16:00 終了

競技進行表

1月18日(土)

種目	集合時刻	競技時間	T1コート	T2コート	T3コート	T4コート
南北別 個人形 第1ラウンド	12:50	13:00~ 13:30	北男子 A・B各4試合	南男子 A・B各4試合	北女子 A・B各4試合	南女子 A・B各4試合
南北別 個人形 第2ラウンド		13:40~ 14:00	男子 北4試合	男子 南4試合	女子 北4試合	女子 南4試合
南北別 個人形 決勝戦		14:05~ 14:15	男子 北2試合	男子 南2試合	女子 北2試合	女子 南2試合
南北統一戦 個人形 抽選						
南北統一 個人形 第1ラウンド・決勝戦	14:25	14:30~ 15:00		男子 6試合	女子 6試合	
南北別 団体形 第1ラウンド	15:10	15:15~ 15:45	北男子 A・B各4試合	南男子 A・B各4試合	北女子 A・B各4試合	南女子 A・B各4試合
南北別 団体形 全国選抜大会出場枠決定戦		15:50~ 16:00	男子 北2試合	男子 南2試合		女子 南2試合
南北別 団体形 第2ラウンド		16:05~ 16:25	男子 北4試合	男子 南4試合	女子 北4試合	女子 南4試合
南北別 団体形 決勝戦		16:30~ 16:40	男子 北2試合	男子 南2試合	女子 北2試合	女子 南2試合
南北統一 団体形 決勝戦	16:50	16:55~ 17:10		男子 2試合	女子 2試合	

1月19日(日)

種目	集合時刻	競技時間	T1コート	T2コート	T3コート	T4コート
南北別 個人組手 各階級1回戦	8:50	9:00~ 9:35	北(男子) 1回戦	南(男子) 1回戦	北(女子) 1回戦	南(女子) 1回戦
各階級決勝		9:40~ 10:00	6試合 決勝3試合	6試合 決勝3試合	6試合 決勝3試合	6試合 決勝3試合
南北別個人組手出場枠 決定トーナメント戦		10:05~ 10:10	北(男子)	南(男子) +68kg級 1試合	北(女子) +59kg級 1試合	南(女子) +59kg級 1試合
南北統一戦 個人組手 抽選						
南北統一 個人組手 男子-61kg級 --68kg級 女子-53kg級 --59kg級	10:20	10:25~ 10:55	男子(軽) 1試合	男子(中) 3試合	女子(軽) 5試合	女子(中) 1試合
南北統一 個人組手 男子+68kg級 女子+59kg級		11:00~ 11:05		男子(重) 1試合	女子(重) 1試合	
南北別 団体組手 1回戦	11:15	11:20~ 12:40	男子 北4試合	男子 南4試合	女子 北4試合	女子 南4試合
南北別団体組手出場枠 決定トーナメント戦		12:45~ 13:45	男子 北3試合	男子 南2試合	女子 北3試合	女子 南3試合
南北別 団体組手 準決勝・決勝戦		13:50~ 14:50	男子 北3試合	男子 南3試合	女子 北3試合	女子 南3試合
南北統一 団体組手 決勝トーナメント戦	15:00	15:05~ 15:25		男子 1試合	女子 1試合	

【競技留意事項】

※大会の運営上、招集・入場を制限し(出場枠追加による試合数増加のため)南北別終了まで、出場選手はコート待機とします。

団体組手は各校少なくとも2試合は行うため、勝敗が決定次第終了します。

※南北統一戦は各ブロック優勝選手(校)と推薦選手(校)のみの参加です。抽選はフリー抽選とします。形競技は、本戦ルールに従っての形(第二指定形or得意形)とします。

令和元年度第28回関東高等学校空手道選抜大会 実施要項

1. 主催 全日本空手道連盟関東地区協議会 関東高等学校体育連盟
2. 主管 山梨県空手道連盟 関東高等学校体育連盟空手道専門部
山梨県高等学校体育連盟 山梨県高等学校体育連盟空手道専門部
3. 後援 山梨県教育委員会 (公財)山梨県スポーツ協会 山梨日日新聞社
4. 期日 令和2年 1月18日(土)～19日(日)
5. 会場 小瀬スポーツ公園 武道館
〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840
TEL: 055-243-3115

6. 競技種目 団体形・団体組手・個人形・個人組手(各男女) 計8種目

個人組手階級表

男子個人組手		女子個人組手	
-61kg級	61.0kg未満	-53kg級	53.0kg未満
-68kg級	61.0kg以上 68.0kg未満	-59kg級	53.0kg以上59.0kg未満
+68kg級	68.0kg以上	+59kg級	59.0kg以上

7. 大会日程
- | | | |
|----------|--------------------|-----------|
| 1月18日(土) | 10:00～10:30 | 各都県審判長会議 |
| | 10:00～11:30 | 受付・公式練習 |
| | 10:30～11:00 | 計量 |
| | 10:30～11:00 | 各都県委員長会議 |
| | 11:00～11:30 | 審判員会議 |
| | 11:30～12:00 | 監督会議 |
| | 12:10～12:40 | 開会式 |
| | 13:00～17:10 | 競技 |
| | 17:15～17:25 | 形競技表彰 |
| | 17:25 | 終了 |
| 1月19日(日) | 8:15 | 開館・受付 |
| | 9:00～15:25 | 競技 |
| | 15:30～15:45 | 閉会式 |

8. 計量 (1) 男女個人組手に出場する全ての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格の確認を受けなければならない。
計量場所 男子：1階研修室 女子：1階研修室
- (2) 計量の時間帯であれば何度でも計量することができる。
- (3) 計量の服装は、男女ともに上衣は半袖のTシャツ、下衣はハーフサイズのスパッツとする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
- (4) 計測値から0.5kgを引き、さらに±0.5kgの幅を持たせる。
当日の計量値幅は下記のようになる。

男子個人組手		女子個人組手	
-61kg級	62.0kg未満	-53kg級	54.0kg未満
-68kg級	61.0kg以上 69.0kg未満	-59kg級	53.0kg以上 60.0kg未満
+68kg級	68.0kg以上	+59kg級	59.0kg以上

- (5) この時間内で計量を受けなかったり、あらかじめ届け出た階級の体重区分に適していない選手は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。体重区分に適していないというのは、規定体重を超えた場合だけでなく、規定体重に達していない場合も含む。
- (6) 試合に出場を希望する選手は、発育・発達過程にある高校生であることを考慮し、無理な体重管理を行ってはいけない（（公財）全国高体連空手道専門部HP参照）。

9. 競技規定
- （公財）全日本空手道連盟競技規定に準じて行う。競技の運用については関東高等学校体育連盟空手道専門部参加心得・申し合わせ事項による。
特に、組手競技においては指定の安全具の装着を徹底する。
女子：拳サポーター、ボディプロテクター、ニューメンホーVIまたはVII
シンガード・インステップガードの4点
男子：上記にセーフティカップを加えた5点

10. 競技方法
- (1) 形競技は得点方式、組手競技はトーナメント方式とする。
 - (2) 団体競技においては、登録された範囲内で選手の交替ができる。
団体組手競技においては、チームの勝敗が決した時点で試合を終了する。
 - (3) 個人競技においては、登録された選手の交替はできない。
 - (4) 形競技においては、各回戦毎に定められた範囲の中から演武する形を選ばなければならない。
 - (5) （公財）全国高体連空手道専門部規定の赤・青の帯は各校で準備する。

※（個人組手出場者は顔写真を事前提出する）

11. 参加資格
- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
 - (2) 選手は、各都県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の1・2年生の生徒で、当該競技要項により参加資格を得たものに限る。
 - (3) 年齢は平成13年4月2日以降に生まれたもので19歳未満の者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。
 - (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会の参加を認める。
 - (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等のやむを得ない場合は、当該高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
 - (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
 - (8) （公財）全日本空手道連盟の令和元年度登録競技者であること。
 - (9) 参加資格の特例

ア. 上記（1）及び（2）に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、
[別途に定める規定]に従い大会参加を認める。

イ. 上記（3）但し書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技2回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

1 学校教育法第72条、115条、124条および134条の学校に在籍し、当該都県高等学校体育連盟会長に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加を認める条件

ア. 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ. 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高

等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

- ウ. 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、関東大会及び関東選抜大会への出場条件が満たされていること。
- エ. 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行なわれており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2)大会参加に際して守るべき条件

- ア. 関東高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

12. 参加制限 各種目の出場チーム数・選手数は、次のとおりとする。

(1) 団体種目は各都県2チームまでとする。

<チーム編成> 団体組手 正選手5名 補欠3名
団体形 正選手3名 補欠3名

(2) 個人組手は各階級・各都県1名、個人形は各都県2名までとする。

(3) 令和元年度の全国高等学校空手道選抜大会への推薦出場権を持つチームと個人は、上記の(1)・(2)とは別枠とし、本大会への出場を義務付ける。

※外国人選手の出場枠について

- (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として在籍している生徒であること。
- (2) 在籍校が当該都県高等学校体育連盟に加盟していること。
- (3) 年齢は、平成13年4月2日以降に生まれた者とする。
- (4) 短期留学は除く。
- (5) 団体種目においては正選手の半数を超えない人数までとする。個人種目においては人数枠を設けない。

13. 引率・監督・コーチ

- (1) 出場選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員(当該校でなくともよい)とする。
- (3) 各校毎に選手に監督1名、コーチ1名の参加を認める。ただし、男女両方の参加校に限り、更に1名の監督の参加を認める。監督は(公財)全日本空手道連盟登録会員であること。
- (4) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが当該校職員以外の場合は傷害賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- (5) 上記の(2)・(4)について、各都県において引率責任者・監督・コーチに関する規定が定められ、この基準より限定された範囲内であれば、その各都県の規定に従うことを原則とする。

14. 審判員 関東高等学校体育連盟空手道専門部審判員が担当する。

15. 参加申込方法

- (1) 当該校校長の責任において、所定の様式により定められた期限までに各都県専門部委員長がまとめて申込む。
- (2) 申込締切日 令和元年11月20日(水) [必着]
- (3) 申込先

〒400-0002 甲府市塩部 2-7-1 山梨県立甲府工業高等学校内 令和元年度第28回関東高校空手道選抜大会実行委員会 篠原康彰 宛 TEL. 055(252)4896 FAX. 055(251)3385 e-mail shinoy@kai.ed.jp
--

※ 個人情報の取り扱いについて
大会参加に際して提供される個人情報は大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

16. 参加費 (1) 金額 ①団体種目 1種目/1チーム・・・20,000円
②個人種目 1種目/1名・・・2,100円
(2) 振込方法

各都県の専門部委員長がまとめて下記の銀行口座に振込み、振込書の写しを大会参加申込みと同時に前項の申込先に送付する。

参加料振込銀行名・・・ 山梨中央銀行 東支店 口座番号・・・・・・・・ 普通 468981 名義人・・・・・・・・ 平成31年度 関東高等学校空手道選抜大会 会計 野倉 英明
--

17. 抽選会 令和元年11月29日(金)13:00より、下記会場にて、各都県専門部委員長立ち会いのもとで、大会実行委員会が行う。

山梨県立甲府第一高等学校 〒400-0007 山梨県甲府市美咲2-13-44
TEL. 055-253-3525 FAX. 055-253-3527

18. 表彰 (1) 賞状 南北別戦において個人組手は決勝進出選手、そのほかの種目は準決勝に進出した選手・チームに賞状を授与する。
南北統一選において優勝した選手・チームに賞状を授与する。
(2) 入賞盾 南北統一戦の優勝した選手・チームに入賞盾を授与する。
(3) 優勝杯 南北統一戦の団体種目優勝チームに大会持回りの優勝杯を授与する。

19. 宿泊 (1) 宿舎 宿泊する場合は必ず、大会本部の指定する宿舎に宿泊すること。
(2) 宿泊料金 別紙、タイプ別①10,950円、②9,150円
うち昼食弁当代 900円(内税)
(3) 申込方法 当該校校長の責任において、所定の様式により学校ごとに下記あてに直接申込む。また、各学校は後日送付の請求書に基づき、期限までに指定された銀行口座に振込む。
(4) 申込期限と申込先
申込期限・・・令和元年11月29日(金) [必着]
申込先 宿泊・弁当

第28回関東高等学校空手道選抜大会デスク 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-29-4 明治安田生命甲府ビル1階 (株)日本旅行 甲府支店 担当：岩井・高野・榎本 TEL. 055(235)5252 FAX. 055(231)1533 営業時間(月～金)10:00～18:00 (土日祝休業)

- (5) 宿泊代金の支払期限と振込先
宿泊代金の振込期限・・・令和元年12月25日(水)
宿泊代金の振込先

宿泊代金振込銀行名	みずほ銀行	十五号支店
口座番号	普通	3104235
口座名義	株式会社日本旅行	

20. その他
- (1) 競技中の疾病・傷害等の応急処置は主催者が行なうが、その後の責任は負わない。また、主催者は大会役員と選手を対象に団体傷害保険に加入する。
 - (2) 出場選手は引率責任者によって引率される。引率責任者は選手の全ての行動に於ける責任を負うものとする。
 - (3) 参加者は、関東高等学校体育連盟空手道専門部の大会参加心得・申し合わせ事項に従う。